

悠久の城址内

さくら・つゝじ・もみじ：四季折々の庭園
霞ヶ城公園が歴史の面影を映す

二本松城主・城代等の変遷

領主	区別	氏名	支配期間
畠山		満泰重(満盛)、持村義義(泰國)	嘉吉年間(1441~1443) 天正14年(1586)7月
伊達政宗	城主	片伊倉達(景成)	天正14年(1586)7月
	城代	石母田景綱(頼義)	天正18年(1590)8月
蒲生氏郷	城代	蒲生大柴(成仍和)	天正18年(1590)8月 ~慶長3年(1598)3月
上杉景勝	城代	上杉野野原定忠(綱忠)	慶長3年(1598)3月~ 慶長6年(1601)8月
蒲生秀行 蒲生忠郷	城代	蒲生梅本(左衛門政行) 蒲生山池(安良右衛門守)	慶長6年(1601)8月 寛永4年(1627)1月
〔幕府領〕	在番	酒井近太夫(太田原晴清)	寛永4年(1627)1月~ 2月
		酒井右近(太田原晴清)	
加藤嘉明 加藤明成	城主	松下重門(松下藤)	寛永4年(1627)2月 寛永18年(1641)3月
		《加藤氏代官支配》	寛永18年3月~寛永20年5月
〔幕府領〕 丹羽(にわ)	在番	相馬義胤(相馬義胤)	寛永20年(1643)5月~8月
	城主	1光重、2長次、3長之、4秀高、5長寛、6高貴、7長富、8長庸祥、9長長國、10長長國	寛永20年(1643)8月 ~明治1年(1868)12月

国史跡

県立霞ヶ城公園絵図



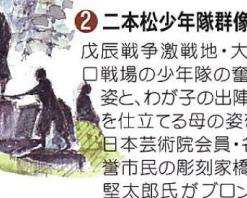
① 旧二本松藩戒石銘碑

【国指定】
藩士の戒めとするため、5代藩主高寛公が藩儒学者岩井田兆非に命じて、通用門前の自然石に刻ませた4句16文字の銘文。句は、教育資料としてまた行政の規範として価値が高いため、昭和10年に国指定。



③ 箕輪門

光重公入府直後、御殿と共に最初に建造した橋門。
材料のカシの巨木は領内箕輪村・山王寺山の御神木を用いたため、この名がある。



② 二本松少年隊群像

戊辰戦争激戦地・大壇口戦場の少年隊の奮戦姿と、わが子の出陣服を仕立てる母の姿を、日本芸術院会員・名譽市民の彫刻家橋本堅太郎氏がブロンズ制作、平成8年建立。